

続 廣子様

謹啓 年の瀬も迫って参りました。先般は、記録的な早い時期での降雪で驚かれたことと存じます。その後もお変わりなくお過ごしでございましょうか。日頃の御無沙汰をお詫び申し上げます。

また、この程、喪中のお葉書を頂戴いたしまして、お身内に御不幸がおありだったようで、心からのお悔やみを申し上げます。

さて、私は、今年の3月の十期和会総会で会長に選出されまして、伊藤和賢君、竹添長和君との3人で十期和会の世話をしておりますので、近況をお知らせかたがたお手紙を差し上げる次第でございます。

十期和会は、御承知の通り昭和35年3月の幹部候補生学校卒業時に170名の会員で発足いたしまして、現在はその殆どの者が齢80歳を数えるに至っております。これまでに殉職者4名を含め53名の会員が他界を致しております。現在は117名の者が略元気に余生を送っております。当然のことながら、中には介護を必要とする者、妻に先立たれた者、妻の介護をしている者などおりますが、出来るだけ会員の状況の把握に努めております。当時の教官方も曾根龍男教官、鈴木外海彦教官と平峯照教官お三方だけになり

ました。

現在の十期和会の活動といたしましては、会員の訃報に対する葬儀等の支援のほか、毎年10月10日の「十期和の日」に昼食会を水交会で開催しております。また、水交会が冬に行います「鍋祭り」と夏に行います「ビール祭り」にクラスとして纏まって参加しています。このように十期和会としての活動は、縮小しておりますが、今後は出来るだけ長く、続けられる限り続けて行きたいと考えております。

最後になりましたが、今後とも末長くお元気でお過ごし下さいますよう祈念申し上げます。

尚、本年の「十期和の日」の記念写真を同封させていただきます。若き江田島の頃の紅顔の美少年？の頃と比べると、隔世の感があります。当然であります。・・・

謹白

平成28年11月29日

手塚正水